

経営比較分析表（令和5年度決算）

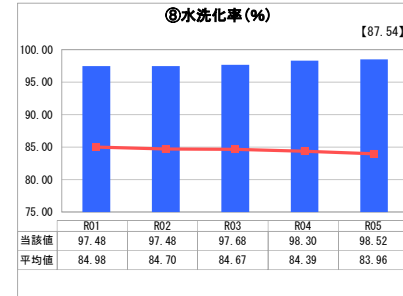
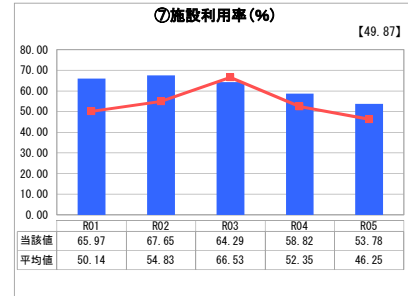
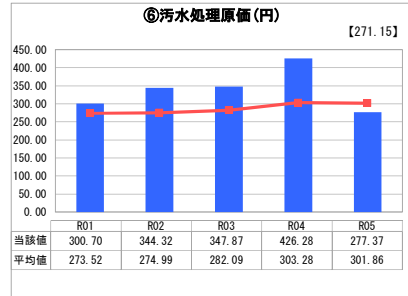
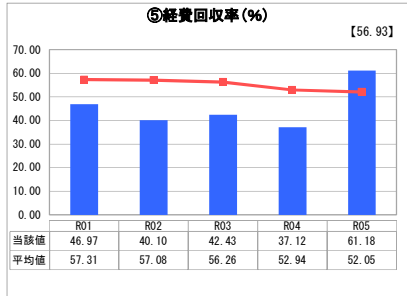
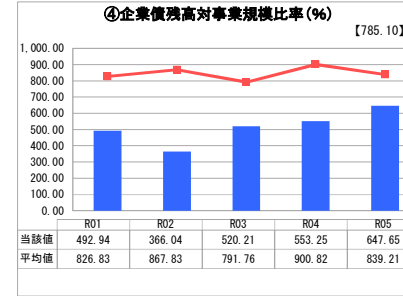
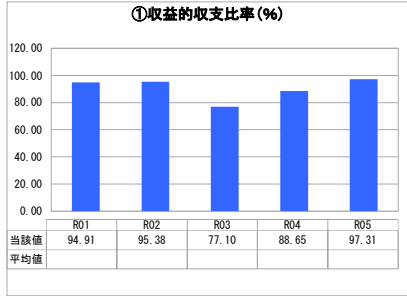
和歌山県 紀美野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.04	100.00	3,950

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,912	128.34	61.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
474	0.15	3,160.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は97.31%で8.66ポイントの増となっているが、人口の減少及び施設の老朽化に伴う管理費の増額等を考慮すると、今後も厳しい状況は続くと考えられる。

企業債残高対事業規模比率は起債償還による地方債現在高合計の減少に伴い比率がいったん減少したものの、令和3～令和5年度に実施した機能強化工事及び令和6年度より施行の公営企業法適用に伴う移行業務により起債借入れを行う予定の為、今後、比率は増加するものと予想される。

経費回収率は令和5年度に大きく増加するものの、公営企業適用に伴う打切決算のため未払金が発生したためである。汚水処理原価についても、同様の理由により減額となっている。

施設利用率の増減については、処理水量の増減によるものである。

水洗化率については、利用人口の増減によるものであるが、令和5年度においてはほぼ変動はない。

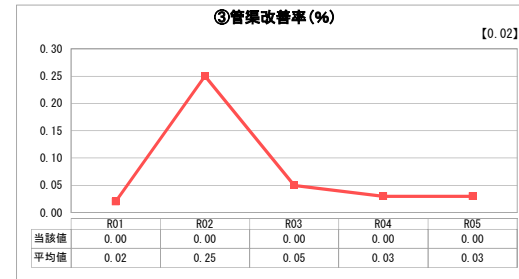
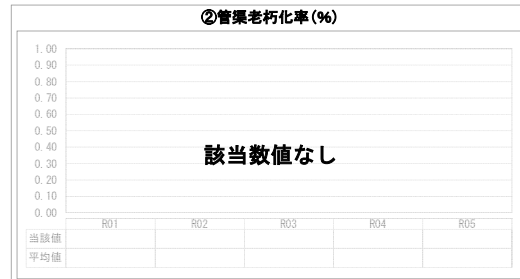
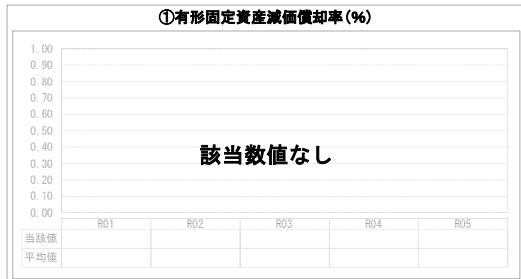
2. 老朽化の状況について

供用開始から29年が経過し、管路施設及び機械、電気設備の数箇所到老朽化及び劣化が見受けられる。

平成30年度に作成した機能保全計画に基づき、令和元年度に改修事業計画概要書を作成、令和3～5年度にかけ、機能強化工事を施工した。

今後も5～10年単位での老朽化の見直しが必要となる。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和3～5年度において行われた機能強化工事、令和6年度の公営企業法適用に伴う移行業務、これらに係る企業債残高の増加、また施設老朽化による修繕費用が必要になるため、一般会計からの繰入の増加が懸念される。

今後については、令和7年度に経営戦略の見直しを行い、財政健全化に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。